# 魅力は石垣にあり

国指定史跡
続日本100名城

# 新宮城跡散策マップ

## 熊野川 川面に映える総石垣の城

新宮城跡の魅力は、石垣にあります。その散策ルートをゆっくり見て歩けば、時代の歴史に思いをはせることができます。想像力によって、平山城のおもしろさ、楽しさを体感することができるでしょう。

みどころいっぱい！
楽しさいっぱい！
さあ、出発!!

石垣がスッキリきれいだね

お城って歩きにくい階段もいろいろあるね

ここは枡形虎口と言って2つの門を組み合わせた防御スペースなの

お城の交差点だね

この坂を登り、右手に曲がると鐘ノ丸です

丸に立ち沢瀉（水野家）
1619年～
（元和5年）

餅の内に杵（浅野家）
1600年～
（慶長5年）

※公園入口①から登城すると大手道に繋がります

※現在❶大手門より登城できません（❹❺間は通行できません）。
公園入口からの登城となります。
※㉘二ノ丸は現在私有地となっていて入ることはできません。

### 新宮城跡のご案内

- お車でお越しの方は、Pの指定の無料駐車場をご利用ください。
- 公園入口から天守台まで、散策所要時間は、約60分ほどかかります。
- トイレは、天守台下にしかございませんので、ご注意ください。

**1 大手門** おおてもん
新宮城表玄関。（白塀に続く城門があったと推察されます）

**2 亀甲積み** きっこうづみ
大手門を入ってすぐのところに設置された大変精緻で難度の高い石積みです。
和歌山城一中の門に同様の石積みが見られます。同じ石工集団の建造と思われます。

**3 算木積み** さんぎづみ
隅石を大きめの細長い石で長辺と短辺を互い違いに積み上げる技法で大変強固な石垣の積み方です。
城内各所に見られます。

**4 高石垣** たかいしがき
大手門から少し入った所にある、大きな石を用い算木積みで作られた石垣。防御の役割を果たした石垣です。

**公園入口 ①**

**5 大手道** おおてみち
高石垣からの登城ルートは損壊していますが、途中から江戸時代の大手道が残っています。

**6 土塀跡** どべいあと
現存する大手道には、白壁土塀の基礎部分が残っています。

**7 排水溝** はいすいこう
大手道、中ほどに排水溝が残っています。多雨地域のため排水溝や・樋などの排水施設が多く設置されています。

**8 松ノ丸西門** まつのまるにしもん
山上の曲輪群の入り口として、立派な門と枡形虎口が紀州新宮城図に描かれています。

**9 松ノ丸** まつのまる（三ノ丸）
大手道より、水ノ手曲輪、本丸への通路として要の曲輪です。水ノ手への東門跡も確認されています。

**10 鐘ノ丸渡櫓門** かねのまるわたりやぐらもん
櫓門（多門）として威容を誇り、枡形虎口で防御を固めていました。現在は切込み接ぎ布積みの石垣が残っています。

**11 鏡石** かがみいし（八巻き）
鐘ノ丸渡門の正面に、厄除けと城主の威厳を示すための鏡石が設置されています。

**12 鐘ノ丸** かねのまる（二ノ丸）
鐘ノ丸には、西北・西南・南の各隅に櫓が配置されていました。



本丸からの眺めは最高、絶景かな！

**18 亀甲積み** きっこうづみ
本丸渡櫓門正面に、当時としては最高難度の技法を使って建造され現在も寸分の狂いもなく見事に残っています。

**19 本丸** ほんまる
本丸には4基（西北、北東、東南、南西）の櫓が多門で連結され城の中核を担っていました。

**20 出丸** でまる
お城の出丸（張り出した曲輪）としては、全国でも珍しい独立した曲輪です。本丸と橋で繋がっていました。

**21 搦手門** からめてもん
城裏門、石垣は面取り・谷目地に石表面を高く膨らませた、当時最高の石化粧法で作られています。

**22 天守台** てんしゅだい
本丸西側に天守が威容を誇っていたと思われます。（城のシンボル）

**23 矢穴** やあな
石に等間隔に穴を穿ちそこに矢を打ち込み、亀裂を入れて石を切り出した。城内には新旧の矢穴が多数みられます。

**24 横矢掛** よこやがかり（屏風折れ）
本丸南側石垣は、横矢掛（屏風折れ）。出角の稜線が幾重にも重なり非常に美しい景色を醸し出しています。敵兵を側射するためと、壁面強化の目的で作られています。
天守台南面には、江戸千家創始者川上不白の「清風生蓬莱」の碑が建っています。

**25 刻印** こくいん
○や△印や他の種類等、城内に69ヶ所が残っています。

**26 松ノ丸東門** まつのまるひがしもん
水ノ手曲輪への階段につながる松ノ丸東側の場所に建てられています。

**27 水ノ手曲輪** みずのてくるわ
お城では珍しく、城の中核部分「舟入」を守るように縄張りされていて、港や炭納屋倉庫などの施設が熊野川沿いに配置されています。

**28 二ノ丸** にのまる（南曲輪）
山麓に建てられ、政庁として領内の政務を司る重要な建造物があった場所です。
※現在は私有地となっていて入ることはできません。

割り損ねの矢穴がハッキリ見えるね

まるで屏風のよう！どこからこんな石を運んだの？

たくさん刻印があるね 残り68ヶ所を探そう！

ゴール！おつかれ様でした新宮城跡見て歩きは最高に楽しかったね！

**13 鐘ノ丸東門** かねのまるひがしもん
仕切り石垣の一部が残ります。ここには門や白壁が建造されていたと思われます。

**14 本丸石垣** ほんまるいしがき
本丸北西側（熊野川沿い）の切込み接ぎ石垣は、水野時代のものですが、下方斜面の所々に浅野期の野面積みの石垣が見られます。

**15 排水樋** はいすいひ
切込み接ぎの石垣では、多雨地方の雨水抜きの為に必要な設備です。現在城内に8基確認しています。

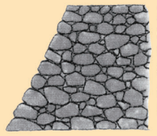
**16 城門** じょうもん
鐘ノ丸東門から、本丸へと曲輪間の遮断・出入り口として高麗門のような門があったと言われています。

**17 本丸渡櫓門** ほんまるわたりやぐらもん
本丸の入口に巨石を使用した高度な切込み接ぎのどっしりとした門跡と枡形虎口が残っています。

まるで石垣の博物館だね！

### 新宮城跡に見られる主な石積みの技法

**野面積み**



ほとんど加工のない自然石を積み上げる技法。古い時代の石垣にみられる。

**打込み接ぎ**

形や大きさをそろえた割石を用いて積み上げる技法。

**切込み接ぎ**

石同士の接合部分を隙間なく加工して積み上げる技法。

**A 水野家墓所** みずのけぼしょ
お城から少し離れた、市内橋本に、歴代城主と親族の墓碑16基が参道に面して並んでいます。
歴代城主の墓が、菩提寺ではなく、独立した丘に存在するのは大変珍しく、お城と共に国史跡となっています。

**好評発売中！**
水野家と浅野家の家紋をあしらった
**新宮城跡 御城印**
1枚300円
（新宮城の歴史がわかる年表付き）
● 販売所
新宮市観光協会
新宮駅前・熊野御坊南海バス1階/9時～17時　無休
阿須賀神社 社務所 歴史民俗資料館 横



お問い合せ
**新宮市役所商工観光課**
〒647-8555 和歌山県新宮市春日1番1号
☎0735-23-3333　http://www.city.shingu.lg.jp/

**新宮市観光協会**
〒647-0020 和歌山県新宮市徐福2-1-11 熊野御坊南海バス(株)1F
☎0735-22-2840　http://www.shinguu.jp/